令和4年6月1日 第18回 地域交流ワークショップ

ROSを用いた 模擬生産ラインの構築

地方独立行政法人大阪産業技術研究所 電子・機械システム研究部 知能機械研究室 〇宮島 健・赤井 亮太



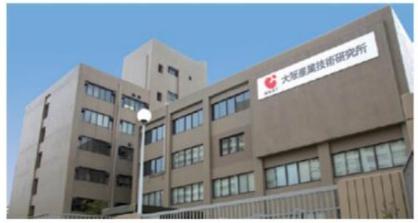


地方独立行政法人大阪產業技術研究所

Osaka Research Institute of Industrial Science and Technology

大阪産業技術研究所は、旧・<u>大阪府立産業技術総合研究所[産技研]</u>(現・和泉センター)と 旧・<u>大阪市立工業研究所[市工研]</u>(現・森之宮センター)の新設合併により、平成29年4月に 新組織としてスタートしました。





本部・和泉センター

Headquarters / Izumi Center 594-1157 和泉市あゆみ野2丁目7番1号

森之宮センター

Morinomiya Center 536-8553 大阪市城東区森之宮1丁目6番50号











略称は、 「ORIST」

最近の技術トピックス



国際競争力の強化に向けた中小企業の海外展開支援







西日本の公設試験研究機関で初めて国際規格(ISO/IEC17025)の認定を受けた最大のEMC技術開発支援施設を保有。電気・電子機器の製品化や海外展開に不可欠な各種EMC試験のニーズに応えるとともに、ものづくり企業の製品開発を総合的にサポート。

革新型電池開発プロジェクト

H30~R04年度

オールジャパンプロジェクトに、LIBTEC(トヨタなどの大企業で構成)等と共に<mark>公設試験研究機関として唯一参画</mark>。

LIBTEC理事長 吉野彰博士



電気自動車用蓄電池開発プロジェクト

新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO) ・安価 (製造コスト 1/3)

事業総額:100億円(5年間)

·小型化·軽量化(重量1/3)

・充電時間の短縮 (充電時間 1/3)



軽量化等により「空飛ぶクルマ」の 実用化に貢献

2025年大阪・関西万博での実現を目指して

出典:経済産業省ウェブサイト

(http://www.meti.go.jp/press/2018/12/20181220007/20181220007.html)

AIを活用した香り・におい解析技術の確立を目指して



大阪産業技術研究所

香り・におい解析に関する大学等と の共同研究や、香り・におい関連製 品の企業との共同開発等、豊富な 経験とノウハウを保有。



阪大産業科学研究所が「産業科学AIセンター」を2019年4月に発足。「香り・におい情報のデジタル化」に取り組んでいる。

2019年8月27日

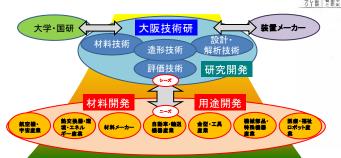
研究連携協力に関する協定を締結

従来、ヒトの臭覚に頼っていた香り・においの研究や ビジネスを変革し、新しい価値創造を図る。 R1.8.28 日刊工業新聞3面記事



「3D造形技術イノベーションセンター」の開設

金属AMの高度な研究、試験評価をワンストップで実施できる<mark>国内トップクラスの拠点</mark>として、令和3年4月に開設。





活動内容



技術支援メニュー

技術相談(無料)「約8万7千件〕

装置·施設使用(有料) [約1万件]

講習会・セミナー

依頼試験·簡易受託研究(有料) 「約1万6千件〕

共同研究・高度受託研究(有料) 「約50件]

情報発信

技術交流

<u>人材育成メニュー</u>

オーダーメード研修(有料)

レディーメード研修(有料)

講習会・セミナー

共同研究·高度受託研究【ORT 】(有料)

研究開発

競争的資金研究(科研費·NEDO·JST等)

[約120件]

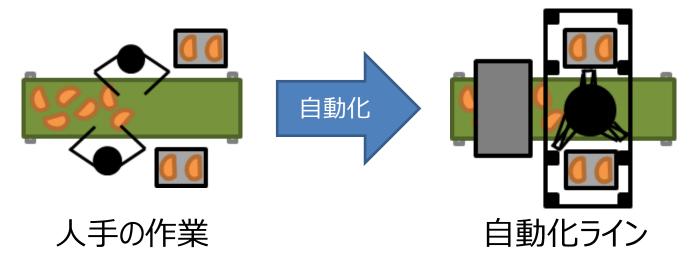
所費研究 [約80件]

中小企業における自動化への課題



専用の自動化ラインを**発注**すると

- ・大きな導入コストや広いスペースの確保が必要になる
- ・作業内容やワークが変わるたびにシステム変更依頼を行う必要がある



中小企業が**自社に適した自動化**を**自ら行うこと**を可能にする **自動化システム**の構築技術の普及と技術獲得の支援が必要

ROSを用いたシステム構築技術に注目

ROSとは



Robot Operating System

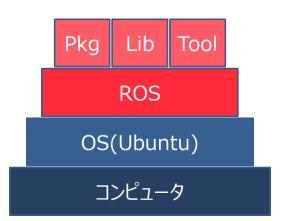
- OSとアプリケーションを繋ぐミドルウェア
- ロボットソフトウェアアプリケーションの作成を支援
- BSDライセンス: 商用利用も可

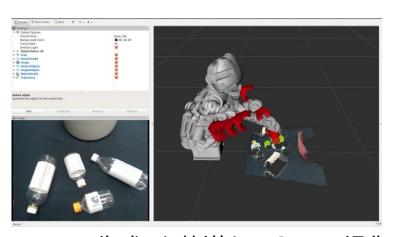
ROSが提供するライブラリの例

- MoveIt(軌道生成)
- ROS Control(制御)
- • •

ROSが提供するツールの例

- Rviz(可視化ツール)
- Gazebo(シミュレータ)
- • •





MoveItで生成した軌道をRvizで可視化

ROS対応システムと汎用システム



ROSを用いた汎用的なシステム構築

ROS対応ロボット・ センサ・アクチュエータ







汎用アクチュエータ・ センサ・マイコン











ROSとROS2



ROSの 課題

- ・ Ubuntu以外のOSへの対応が不十分
- ・ マイコンなどリソースの少ないコンピュータに搭載不可
- ・リアルタイム処理が困難
- **1体のロボットのみ**動作させることを想定

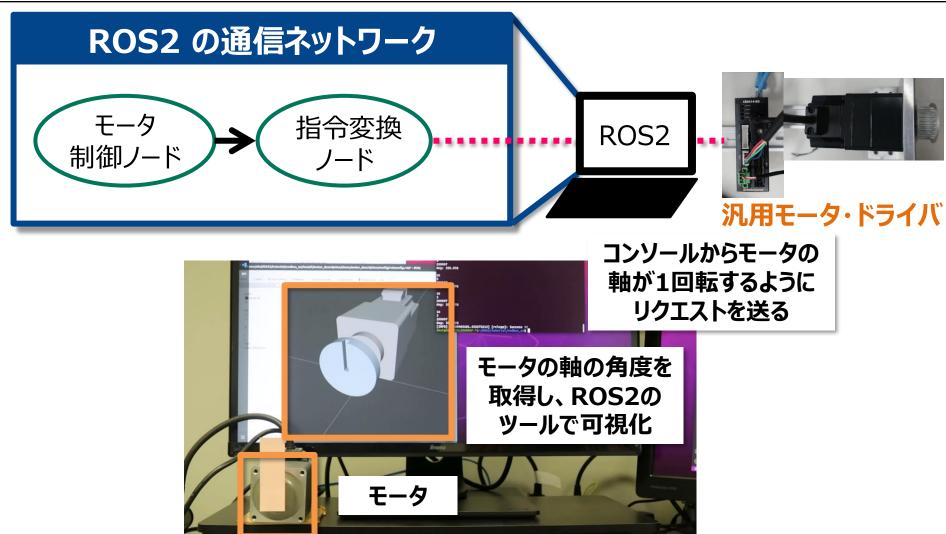
ROS2

- Ubuntu, mac, Windows にインストール可能
- ・マイコンに組み込み可能
- ・リアルタイム処理可能:通信方式の変更
- ・複数のロボットの動作が可能
- ROS用に開発したコードはそのまま使えない

汎用システムを構築するためにROS2を利用する

汎用アクチュエータの制御① 汎用モータ

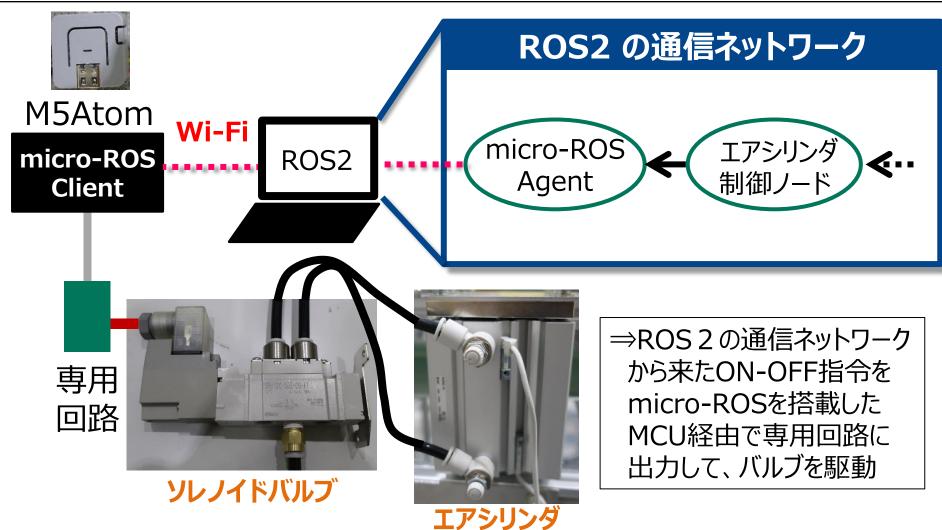




汎用モータをROS2で制御することに成功した

汎用アクチュエータの制御② エアシリンダ

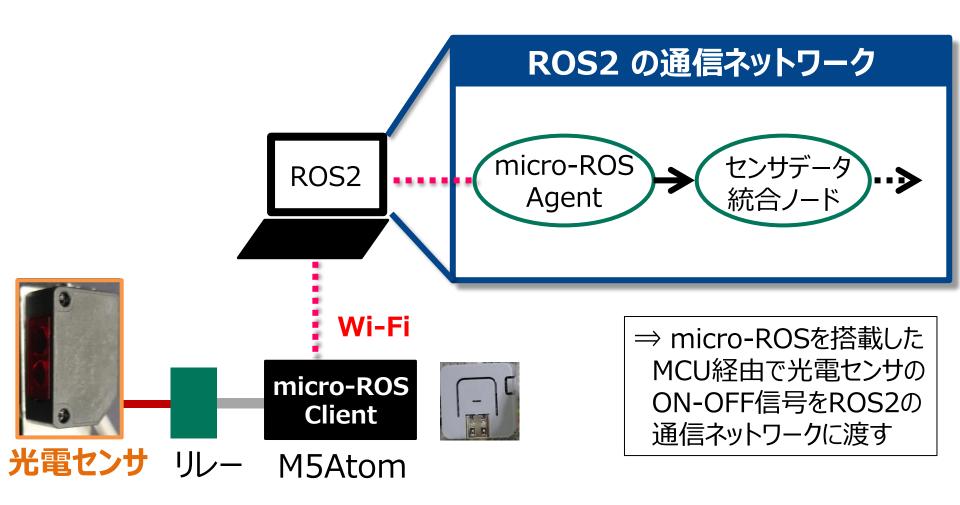




エアシリンダをROS2で制御することに成功した

汎用センサの出力の取り込み

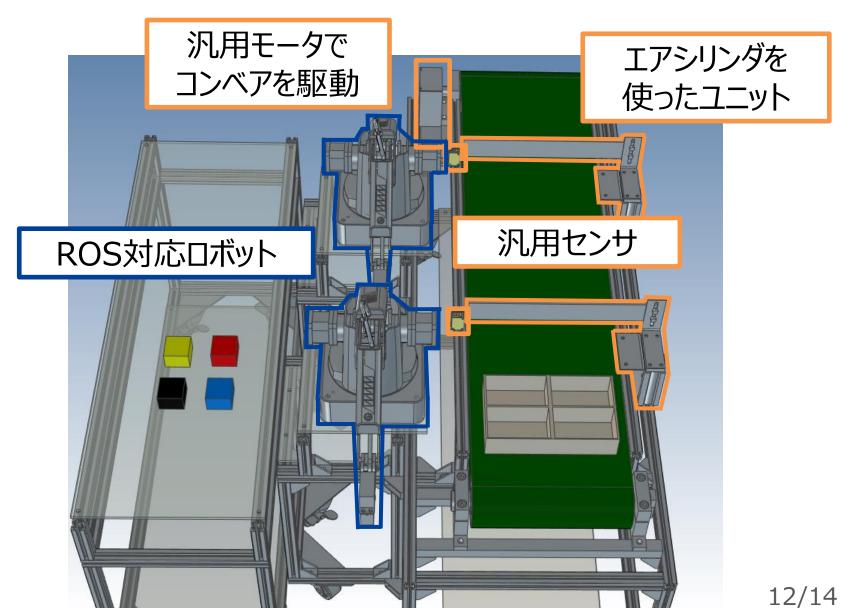




汎用センサの出力をROS2で取得することに成功した

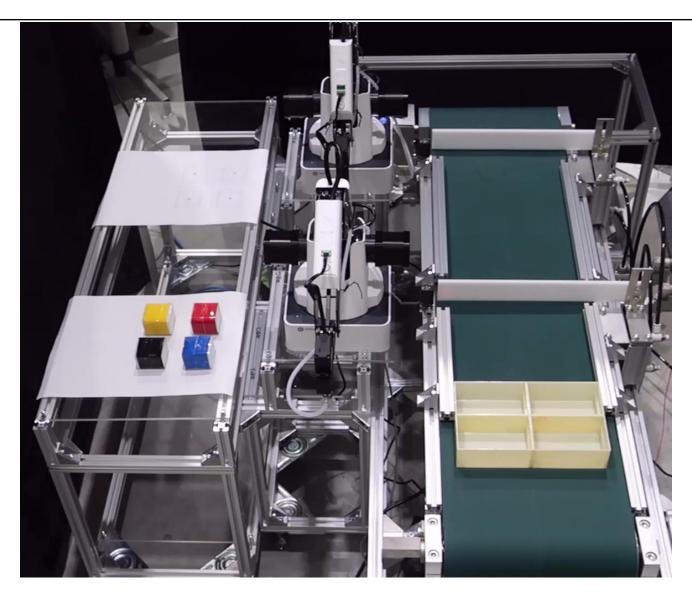
ROS2を用いた模擬生産ラインの構築





ROS2を用いた模擬生産ラインの構築





構築した模擬生産ラインの動き(2倍速再生)

まとめと今後の展開



ROS2を用いて、汎用モータ、エアシリンダ、 汎用センサを含めた模擬生産ラインを構築し、 制御することができた。

今後の展開

- 画像処理などと連携することで、供給されるワークが 位置決めされていなくても対応可能にする
- ワーク供給の自動化も行うことで、より上流までを 含めた広範囲の模擬生産ラインを構築する
- 部品組付けなど、移載ライン以外のラインの構築